

第4期 大竹市地域福祉計画

令和8（2026）年度～令和13（2031）年度



令和8（2026）年3月

大竹市

第4期大竹市地域福祉計画の策定にあたって

本市では、平成19（2007）年に「大竹市地域福祉計画」を策定し、以後、6年ごとに計画の見直しを行いながら、地域福祉推進のための取組を進めてまいりました。

第4期大竹市地域福祉計画の策定にあたり、あらためて現状把握を行ったところ、全国平均を上回るペースで人口減少や少子化・高齢化が進展していることが明らかとなり、地域福祉の重要性がますます浮き彫りとなっています。

また、実施した市民アンケートの結果の中で、本市には自治会、PTA、ボランティア団体やNPO法人、老人クラブ、趣味のサークルなど、様々な地域活動組織があるにもかかわらず、そのいずれにも参加していないと回答した方が、どの年代においても4人に1人以上いることがわかりました。

本市は、地縁や血縁といった昔からの地域の結びつきが比較的保たれているまちではありますが、ライフスタイル等の変化により、人と人の結びつきが希薄になりつつある状況がうかがえます。

このような状況を看過することなく、つながることや所属することがもたらす「安心」や「生きがい」を重視し、生涯にわたって孤立・孤独を感じることもない、「ともに輝きともに支える 優しさと安心のまちづくり」を目指します。

新しい地域福祉計画が、これからも市民が安心して住み続けられる大竹市を目指すうえでの指針となるよう、皆様のご支援とご理解をお願いいたします。

おわりに、この計画の策定にあたり、アンケートを通じて忌憚のないご意見をお寄せいただきました市民の皆様をはじめ、ご協力をいただきました多くの皆様に深く感謝申し上げます。

令和8（2026）年3月

大竹市長 入山 欣郎

◆◆ 目 次 ◆◆

第1編 総論	1
第1章 地域福祉計画について	1
1. 地域福祉計画の趣旨	1
2. 地域福祉が目指すもの	1
3. 計画の位置付け	2
4. 計画の期間	3
第2章 計画策定の体制	4
1. 推進協議会等の開催	4
2. 計画策定のための取組	5
第3章 大竹市の現状	6
1. 統計データ等での大竹市の現状	6
2. アンケート結果	13
第4章 計画の枠組	26
1. 基本理念と将来像	26
2. 基本目標	27
3. 誰もが自分らしく暮らせることを守る制度などの促進	28
4. 体系図	29
第2編 各論	30
第1章 地域福祉に関する認知度の向上	30
1. 地域活動組織・団体の取組等の認知度向上	30
2. 民生委員・児童委員、再犯防止に関する民間協力者の認知度向上	31
3. 相談窓口や支援組織の機能等の認知度向上	32
第2章 地域活動への参加・既存サービス等利用促進	33
1. 地域活動参加のハードルを下げる	33
2. 身近な地域福祉関連サービスの利用を促進する	34
3. 主たるターゲットを設定し地域活動参加の機会を創出する	35

第3章 地域福祉に関する仕組・体制の充実	36
1. 地域活動の母体となる組織や団体の支援	36
2. 地域福祉を担う人材の確保支援	37
3. 相談窓口の整備	38
4. 地域福祉に関連する組織間の連携	39
第4章 評価指標の設定	40
第5章 地域共生社会の実現に向けた制度などの促進	41
1. 大竹市重層的支援体制整備事業実施計画	41
2. 誰もが本人らしい生活を継続し、地域社会に参加できる地域づくりをめざして (大竹市成年後見制度利用促進基本計画)	45
3. 再犯防止の取組について(大竹市再犯防止推進計画)	48
第3編 地域福祉の推進に向けて	53
1. 計画の周知	53
2. 連携・協働による地域福祉の推進	53
3. 計画の評価	53
資料編	54
1. 大竹市地域福祉等推進協議会委員名簿	54
2. 大竹市地域福祉等推進検討会議委員名簿	55
3. 大竹市再犯防止推進計画の策定に向けた意見交換会	56

